

# 施工手順書

この度は、お買い上げいただきまして誠にありがとうございます。  
ポールをスムーズに的確に建柱して頂くため、この手順書に添って正しく施工してください。

## お願い

< 工事業者様へ >

工事終了時には、この手順書と「**ボックス用鍵**」を必ず施工主様にお返してください。

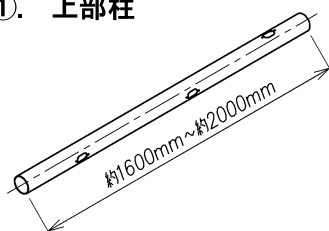
< 施工主様へ >

本書及び「**ボックス用鍵**」は大切に保管してください。

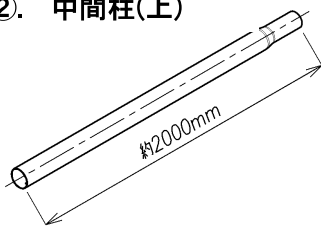
## ポール部品構成

※ ポール及び付属品類は6個口で構成されています。

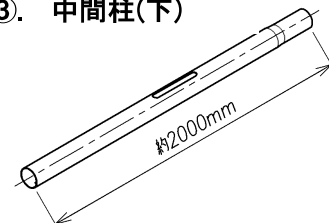
### ①. 上部柱



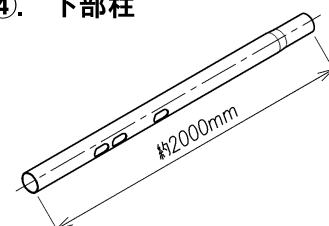
### ②. 中間柱(上)



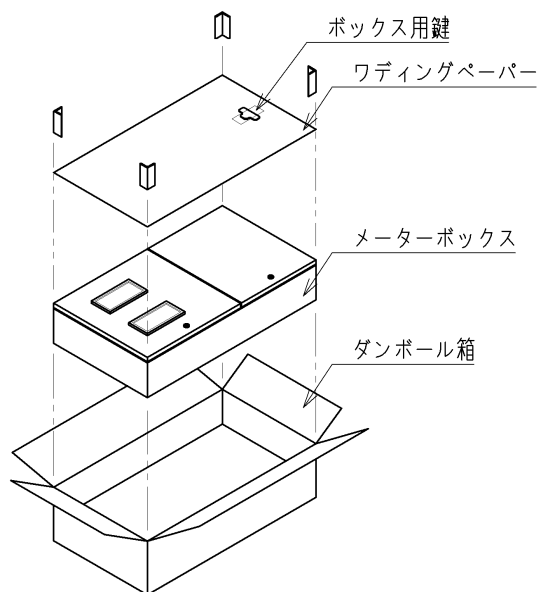
### ③. 中間柱(下)



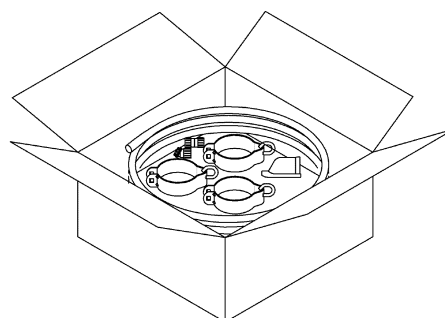
### ④. 下部柱



### ⑤. メーターボックス



### ⑥. 付属品箱



# 戸建用ポール 部品明細一覧表

施工前に明細内容をご確認ください。

荷姿	品番		P-70-B(4分割)	P-74-FB(4分割)	
	部品名				
①	上部柱	φ102	1本	1本	
②	中間柱(上)	φ115	1本	1本	
③	中間柱(下)	φ115	1本	1本	
④	下部柱	φ115	1本	1本	
⑤	メーターボックス (37×306 長穴 1つ穴仕様)		PB-11-A-*	PB-11F-A-*	
	部品	品名	品番	数量	
		ゴムブッシング(長穴用)	UE384	1	1
		セパレーター	P02*	1	1
	ボックス用鍵	P04	1	1	
⑥	付属品箱		UAK014*	UAK015*	
	部品	品名	品番	数量	
		キャップ φ102	UC410*	1	1
		架空線引留バンドφ102	UB430*	3	4
		エントランスカバー-S	UE410*	1	1
		エントランスカバー-T	UE411*	2	3
		ボックス取付バンド	UB511*	2	2
		電話線・情報線用フレキ管	UR01201	2本	4本
		CATV用フレキ管	UR01202	1本	1本
		樹脂製コネクタ 16	UR011	2	3
		ボックス用樹脂製コネクタ 16	UR013	2	4
		連結カップリング 16	UR014	2	3
		ターミナル付アース線 (2m)	UZ010	1	1
		電話保安器用アース線 (緑被覆線 3.5m)	UZ130	1	2
呼び線(ビニル被覆針金 15m)	UZ140	1	2		
セットねじ隠しキャップ		6	6		

合計6個口となります。

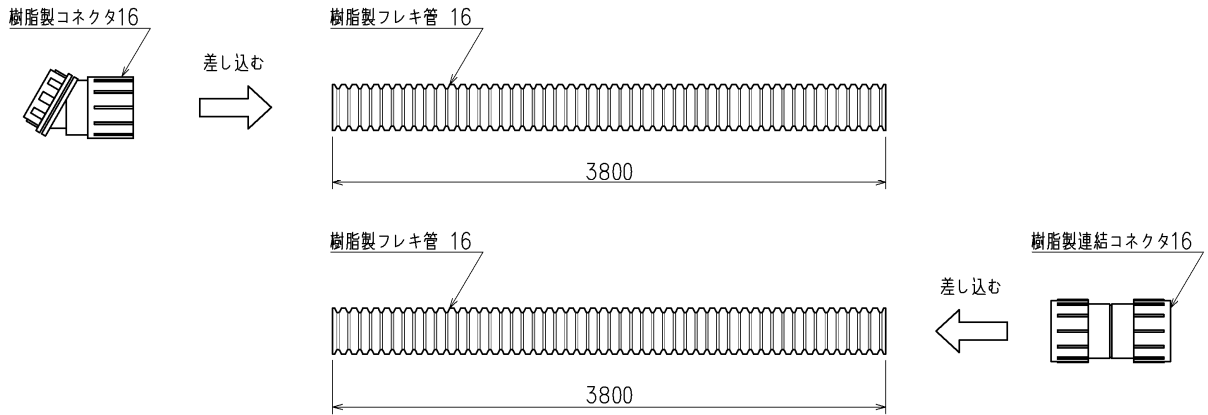
注記：\*印の製品にはブラウン・アイボリーの2種類あります。ポールと同色であることをご確認ください。

注記：①～③のバーリング部に、ポール同士を接続するセットねじが2本ずつ組み込まれていることをご確認ください。

## 1. 電話線、情報線保護管の組み立て

1-1. 電話線及び情報線保護管はポール本体に組付ける為、最初に組み立てて下さい。

### 電話線・情報線引込付属品の組立

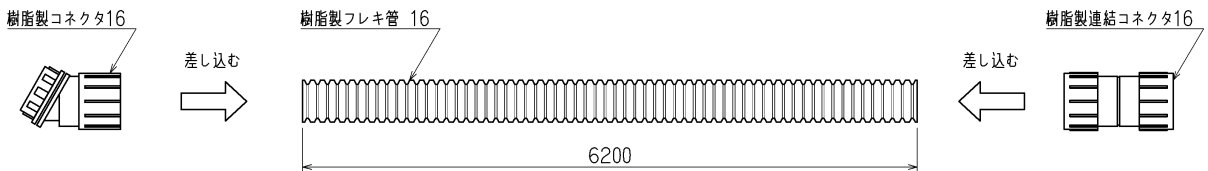


\*保護管接続組み立て完了後、あらかじめ呼び線(付属品)を通線しておいてください。

## 2. CATV線保護管の組み立て

2-1. CATV線保護管はポール本体に組付ける為、最初に組み立てて下さい。

### CATV線引込付属品の組立

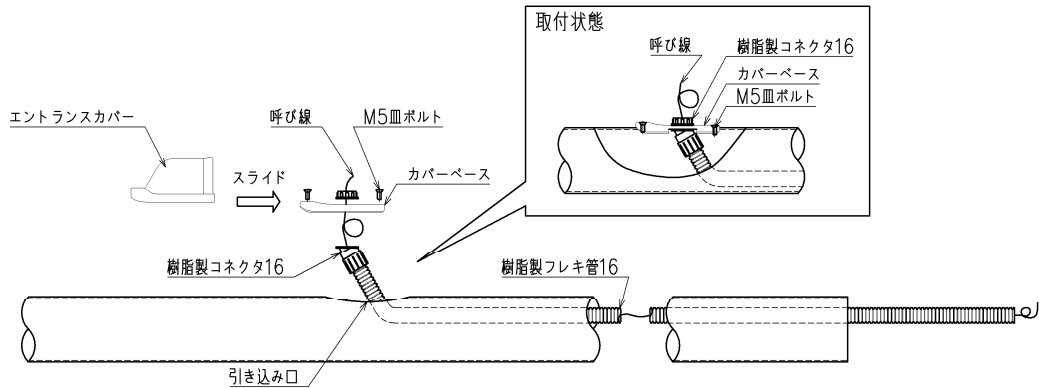


\*保護管接続組み立て完了後、あらかじめ呼び線(付属品)を通線しておいてください。

### 3. ポール本体の組み立て

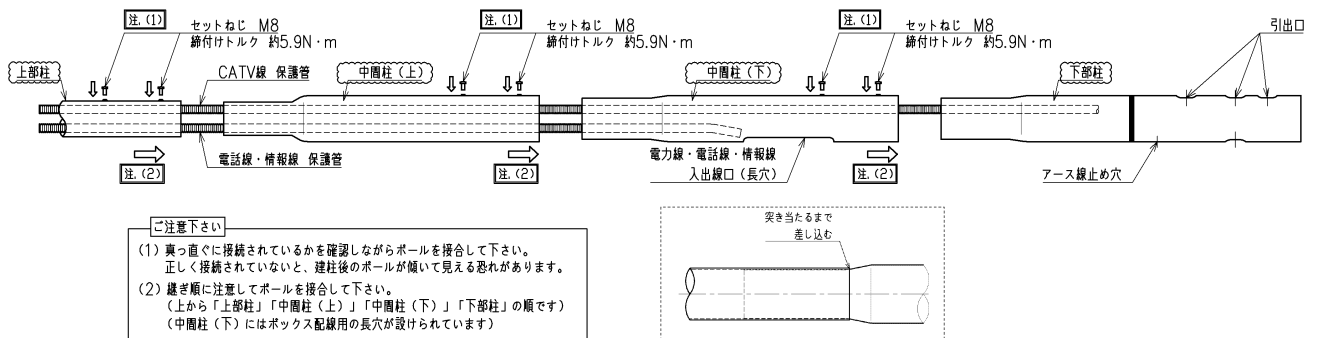
3-1. 下記の流れに沿って、保護管をポールに接続して下さい。

- ①電話線あるいは情報線引き込み口が上面を向くように、上部柱を配置します。
- ②事前に組み立てた電話線及び情報線保護管を、電線引込口に挿入します。
- ③エントランスカバーからカバーベースを外します。
- ④電話線及び情報線保護管に取り付けられた「樹脂性コネクタ 16」とカバーベースを接続します。
- ⑤カバーベースを引き込み口に当て、付属の M5 皿ボルトで固定します。
- ⑥エントランスカバーをカバーベースに取り付けます。

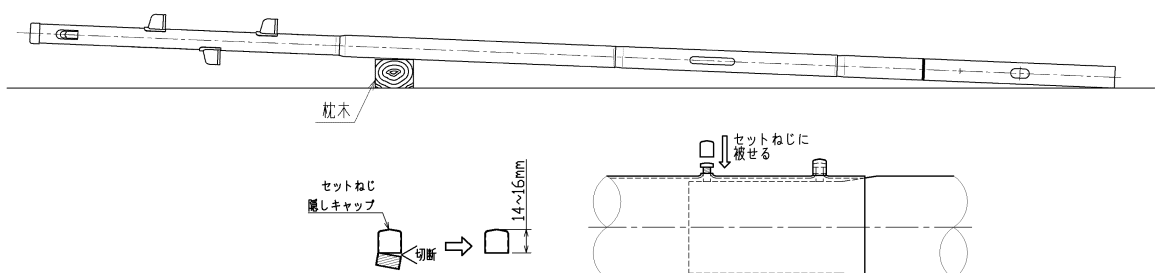


3-2. ポール本体の接合

- 1) . 下図のように、上部柱および各種中間柱のセットねじが同じ向き、かつ下部柱のアース線止め穴がセットねじの反対側にくるよう配置し、保護管を下図のように鋼管内に差し込んでください。更に、上部柱および各種中間柱を縮管部へ突き当たるまで確実に差し入れた後、セットねじでしっかり固定してください。  
(保護管の先端をあらかじめ入出線口(長穴)方向に曲げておくと、施工が行い易くなります)

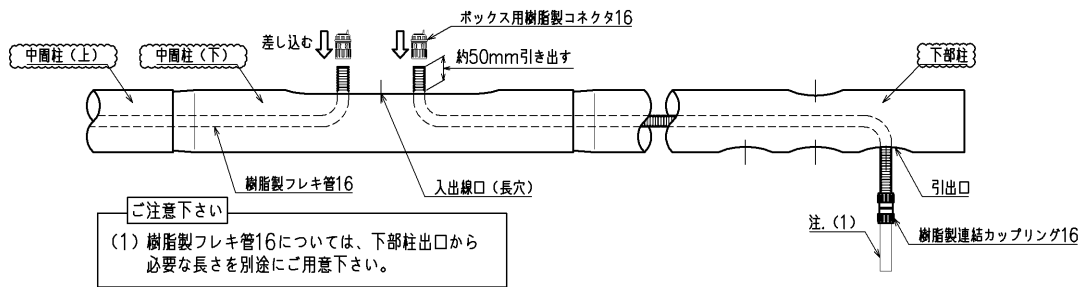


- 2) . ポール本体の接合が完了した後、エントランスカバーが割れないように枕木などを置いて地面より浮かして保護してください。また、セットねじには「セットねじ隠しキャップ」を所定の長さにハサミ等で切断して被せて下さい。



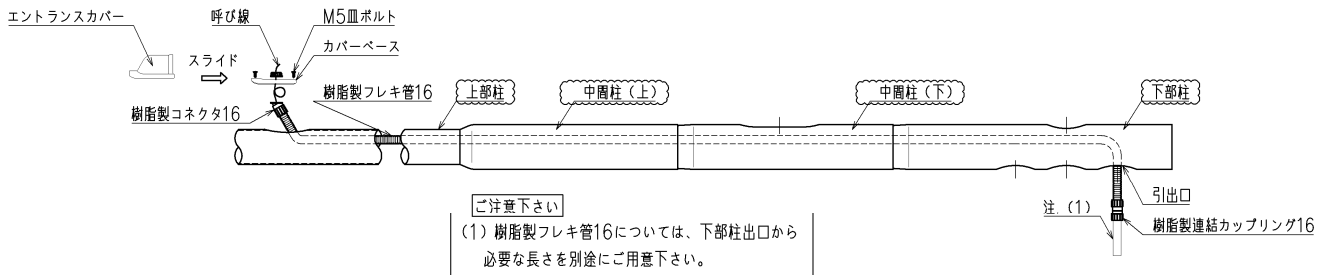
#### 4. 電話線、情報線保護管の取り付けと引き出し

- 4-1. 上部柱から配管された電話線及び情報線保護管を、中間柱(下)の入出線口(長穴)へ引き出してください。
- 4-2. 中間柱(下)の入出線口(長穴)から下部柱の引出口へも、同様に保護管を引き出してください。



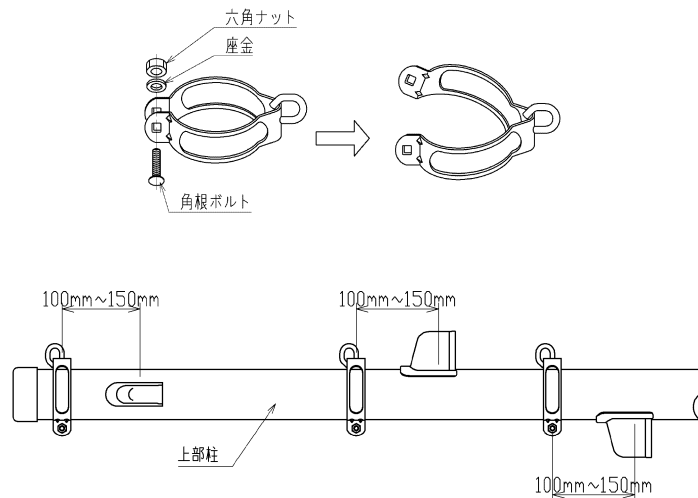
#### 5. CATV 線保護管の取り付けと引き出し

- 5-1. 上部柱に電話線及び情報線保護管と同じ要領で CATV 線保護管を施工してください。



#### 6. 引留バンドの取り付け

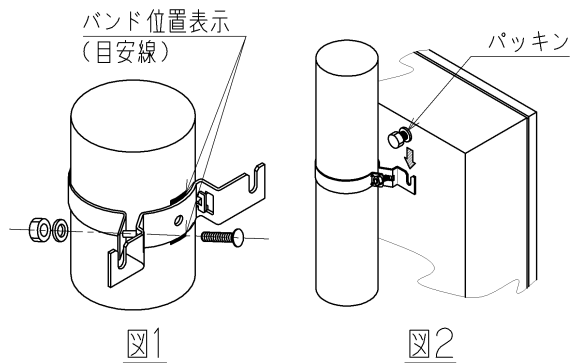
- 6-1. 架空線引留バンド（電力線・電話線・情報線・CATV 線）の角根ボルト、六角ナット、座金を外し、バンド片開口部をポール直径程度になるように広げて、ポールに装着してください。



## 7. ボックスの取り付け

ボックス用ゴムブッシングは、「はめ込み式」になっており、ボックス及びポールとの接続部に完全防水の機能はありません。必要な場合は、建柱時に「防水コーキング」による隙間防止、ならびに「パテ」による開口目隠しの施工をおすすめします。(図3参照)

### 7-1. ボックス取付バンドの取り付け要領



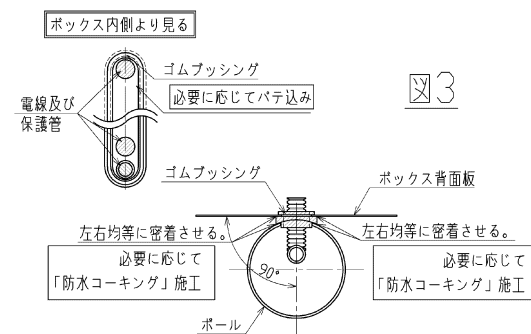
1) ボックス取付バンド (上側) を、ポールのバンド位置表示にあわせて取り付けてください。(図1参照)

注意 1) ボックス取付バンドはメーターボックスを取り付けた時ズレ落ちない程度に締付けてください。[仮留め]

注意 2) バンド位置表示は目安線であり、メーターボックス取り付け時に調整が必要です

2) メーターボックスを、ボックス取付バンド (上側) に上から引っ掛けてください。(図2参照)

注意 3) パッキンはボックス取付バンドとボックスの間に挟んでください。



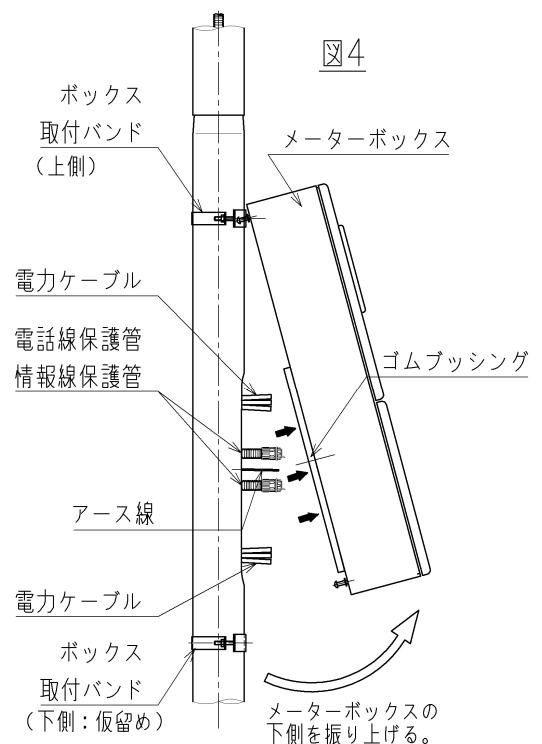
3) ボックス取付バンド (下側) を図4のように取り付けてください。

4) 電力ケーブル等の入出線は右図のようにメーターボックスの下側を少し振り上げてボックス内へ引き込んでください。

5) ゴムブッシングをポールへ確実に嵌合させて下さい。この際、ゴムブッシングとボックス及びゴムブッシングとポールが均等に密着するよう、取付角度にご注意ください。電線等でゴムブッシングにゆがみがある場合は正常な形を維持できるよう、修正してください。

6) 仮留めしたボックス取付バンド (下側) をメーターボックスの下側のボルト位置までスライドさせて取り付けてください。

7) メーターボックスに装着されている六角ボルト (フランジ付) を締付けてからボックス取付バンド (上、下側) の本締めを行ってください。その際もゴムブッシングを均等に挟み込むようご注意ください。



## 8. 建柱

8-1. 基礎穴を掘り接地工事をした後、ポールを建て根入れ深さ (GL) を確認のうえ、砂利または荒土で埋め戻し地際部にコンクリート根巻きを施し、堅固に施設してください。(下図標準例参照)

注意) 容易に検針できる方向にメーターボックスが向いているか確認のうえ、  
コンクリートを流し込んでください。

\* ポールの設置方法につきましては、下記の規程をご参照ください。

「内線規程 (JEAC 8001-2022) 資料番号 2-2-3 引込小柱などの標準施工図例」

### 標準例

